

施設供用制度の見直しについて

令和元年10月
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構

1. 現在のJAEAの供用施設 (11施設)

○施設供用制度による供用施設

・中性子利用・照射後試験施設

- ①JRR-3(東海) ②ホットラボ(大洗) ③常陽等(大洗)
- ④燃料試験施設(東海)

・イオン加速器施設

- ⑤タンデム加速器(東海)

・放射光利用施設

- ⑥大型放射光施設 SPring-8(播磨)

・加速器質量分析施設

- ⑦ペロトロン年代測定装置(東濃)
- ⑧タンデトロン施設(むつ)

・校正用施設

- ⑨放射線標準施設(東海)

・遠隔技術開発試験施設(補助金事業)

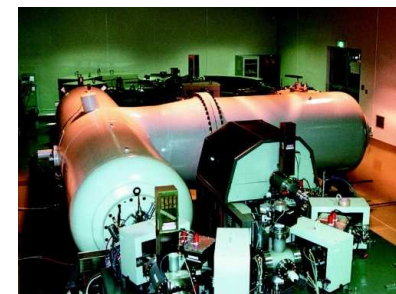
- ⑩モックアップ試験施設(檜葉)

・廃止措置実証試験施設(補助金事業)

- ⑪スマートデコミッション施設(敦賀)



JRR-3



タンデトロン施設



ペロトロン年代測定装置



SPring-8



檜葉モックアップ試験施設

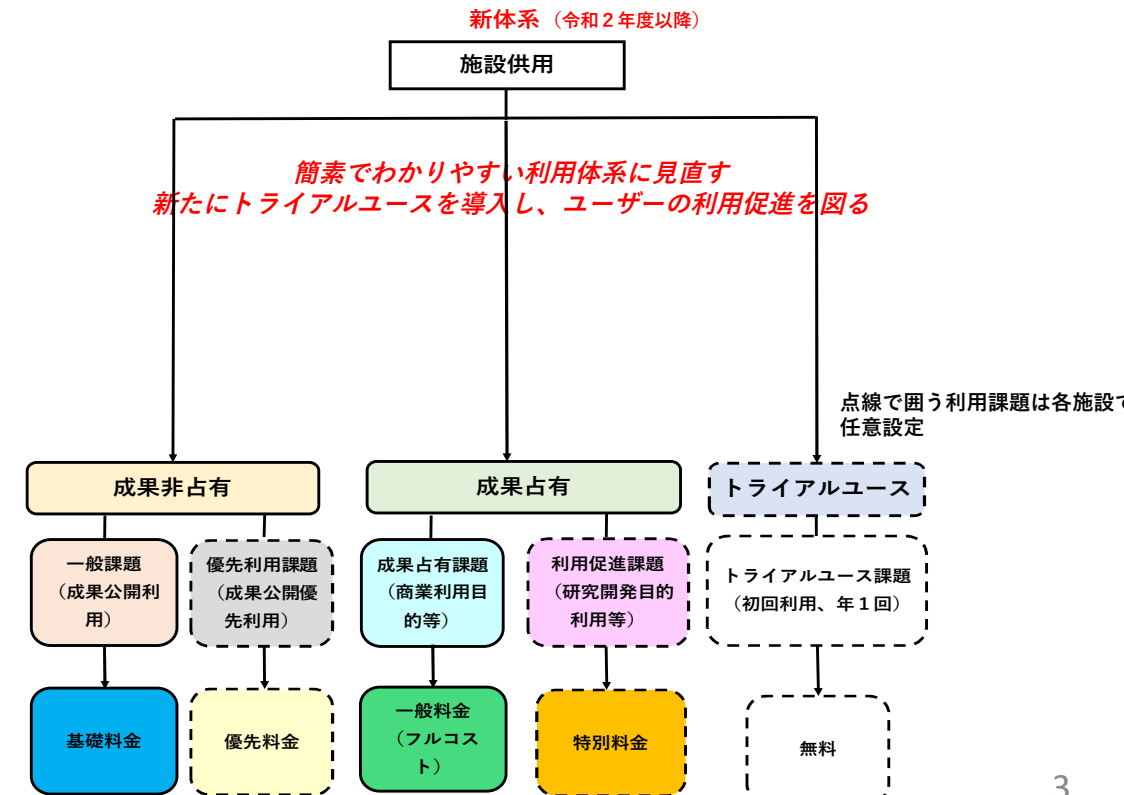
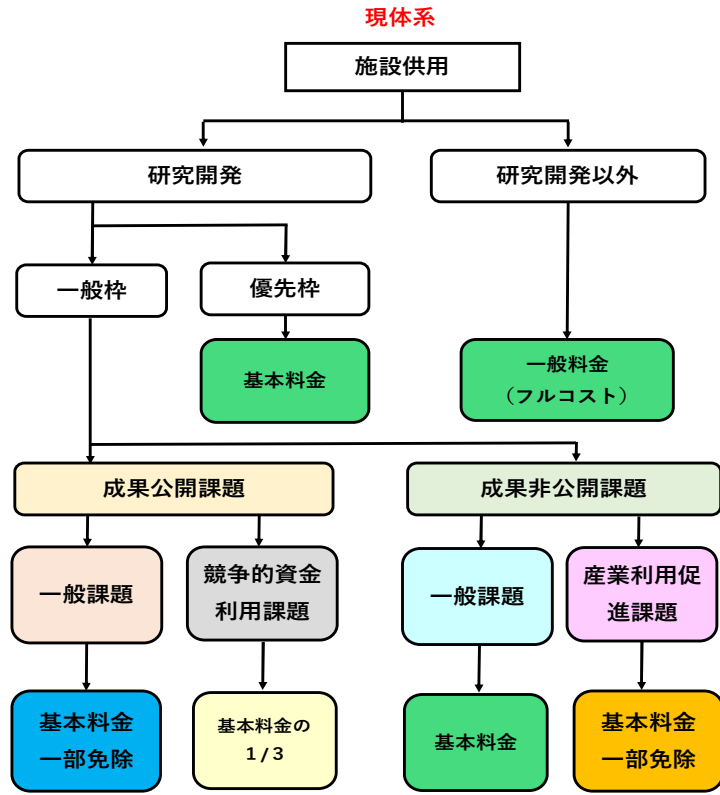


ふくいスマデコ実証施設

2. 利用体系の見直し

新利用課題一覧

- 成果非占有 一般課題 . . . 研究成果を占有せず（論文発表等の成果公開を行う）利用を行う課題
- 成果非占有 優先課題 . . . 研究成果を占有せず（論文発表等の成果公開を行う）国等で採択された競争的資金を利用した課題
課題審査を省略し、優先的なマシンタイムの配分を行う課題
- 成果占有 一般課題 研究成果を占有し（成果公開を行わない）、商業利用目的等での利用を行う課題
- 成果占有 利用促進課題 . . . 研究成果を占有し（成果公開を行わない）、産業利用、学術利用に限らず、研究開発目的等での利用を行う課題
- トライアルユース 産業利用（学術利用を除く）による今後の機構施設の利用に繋がるような利用を行う課題



3. 利用料金の見直し

料金算定項目の見直しを行い、共助分担（施設等をシェアし、利用者全員で費用を分担する）の考え方に基づき、成果占有の場合は、利用時間に応じた所要の利用料金とします。ただし、論文等により研究成果を公表する成果非占有の場合は、国際標準を踏まえ、可能な限り利用料金を低廉に努めます。

また、産業利用等の拡大を促す観点から設ける、トライアル利用（年1回）の場合は、無償とします。

料金区分	現行料金					新料金（令和2年度4月以降）				トライアル ユース
	研究開発 以外	研究開発 非公開 （一般）	研究開発 非公開 （産業）	研究開発公 開（競争資 金）	研究開発公 開（一般）	成果占有		成果非占有		TU
	一般料金	基本料金	基本料金 一部免除	基本料金の 1/3	基本料金一 部免除	一般料金	特別料金	優先料金	基礎料金	無料
算定項目（最大）										
(1) 減価償却費	○					○	○			
(2) 施設保守費	○	○		○	} 1/3	○	○			
(3) 人件費	○	○		○		○				
(4) 核燃料費	○	○		○		○	○			
(5) 維持費	○	○		○		○	○	○		
(6) 光熱水費	○	○		○		○	○	○		
(7) 放射性廃棄物処理費	○	○	○	○		○	○	○	○	○
(8) 消耗品費	○	○	○	○		○	○	○	○	○
間接費（1～8合計）×○%	○	○	○	○		○	○	○	○	○

注1：上記料金区分にかかわらず、取扱い手数料は一律13,300円を徴収

注2：間接費は各算定項目の合計に対し、現行料金では24%、新料金では30%を乗ずる

注3：補助金施設（モックアップ試験施設（檜葉）、ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点（敦賀））は、補助金事業の趣旨を踏まえ、利用料金を柔軟に設定

現行料金と新料金との料金比較* (1 / 11)

* 「JRR-3」及び「常陽」については、施設運転停止中につき、令和2年4月改定を延期します。

タンデム加速器施設（東海）

現行の料金制度	現行料金（円/1時間）	新料金制度	新料金案（円/1時間）
研究開発以外 （商業利用等）	125,940	成果占有 （一般課題）	102,850
(A2) 研究開発 成果非公開 （一般課題）	107,040		
(B) 研究開発 成果非公開 （産業利用促進）	2,170	成果占有 （利用促進課題）	58,950
(C) 研究開発 成果公開 （競争的資金利用）	35,680	成果非占有 （優先利用課題）	26,780
(D) 研究開発 成果公開 （一般課題）	2,170	成果非占有 （一般課題）	2,190
-	-	(新) トライアルユース	0

燃料試験施設（東海）

現行の料金制度	現行料金（円/1点）	新料金制度	新料金案（円/1点）
研究開発以外 （商業利用等）	18,260	成果占有 （一般課題）	19,710
(A2) 研究開発 成果非公開 （一般課題）	17,460		
(B) 研究開発 成果非公開 （産業利用促進）	4,590	成果占有 （利用促進課題）	13,690
(C) 研究開発 成果公開 （競争的資金利用）	5,820	成果非占有 （優先利用課題）	6,350
(D) 研究開発 成果公開 （一般課題）	4,590	成果非占有 （一般課題）	3,950
-	-	(新) トライアルユース	0

現行料金と新料金との料金比較（2 / 1 1）

放射線標準施設（FRS）（東海）

現行の料金制度	現行料金（円）（円/1時間）					新料金制度	新料金案（円/1時間）				
	加速器中性子・ γ 線照射設備	RI中性子照射設備	γ 線照射設備	X線照射設備	β 線照射設備		加速器中性子・ γ 線照射設備	RI中性子照射設備	γ 線照射設備	X線照射設備	β 線照射設備
研究開発以外 （商業利用等）	82,650	19,370	14,270	13,060	9,090	成果占有 （一般課題）	58,930	14,900	3,480	7,900	6,600
(A2) 研究開発 成果非公開 （一般課題）	51,790	14,390	11,190	9,380	8,090						
(B) 研究開発 成果非公開 （産業利用促進）	5,900	840	860	170	1,700	成果占有 （利用促進課題）	45,570	10,170	2,030	3,830	2,800
(C) 研究開発 成果公開 （競争的資金利用）	17,260	4,800	3,730	3,130	2,700	成果非占有 （優先利用課題）	3,970	1,520	320	450	210
(D) 研究開発 成果公開 （一般課題）	5,900	840	860	170	1,700	成果非占有 （一般課題）	680	190	30	10	10
-	-	-	-	-	-	（新）トライアルコース	0	0	0	0	0

現行料金と新料金との料金比較（3 / 1 1）

ペレトロン年代測定装置（東濃）

現行の料金制度	現行料金（円/1試料）					新料金制度	新料金案（円/1試料）				
	分析料金	前処理費用					分析料金	前処理費用			
		貝殻	炭酸塩	木片	土壌						
研究開発以外 （商業利用等）	18,850	-	-	-	-	成果占有 （一般課題）	40,390				
(A2) 研究開発 成果非公開 （一般課題）	16,600	-	-	-	-						
(B) 研究開発 成果非公開 （産業利用促進）	3,920	-	-	-	-				成果占有 （利用促進課題）	32,500	
(C) 研究開発 成果公開 （競争的資金利用）	5,530	-	-	-	-				成果非占有 （優先利用課題）	14,640	
(D) 研究開発 成果公開 （一般課題）	3,920	-	-	-	-				成果非占有 （一般課題）	3,650	
-	-	-	-	-	-	（新）トライアコース	0				
グラファイト化のみ	-	34,350	34,350	34,350	34,350	一律	44,700				
CO2精製及びグラファイト化	-	51,520	51,520	51,520	51,520						
洗浄、CO2精製及びグラファイト化	-	-	-	71,260	83,270						

現行料金と新料金との料金比較（４／１１）

タンデトロン施設（青森）

現行の料金制度	現行料金（円/1試料）							新料金制度	新料金案（円/1試料）						
	分析料金		前処理費用						分析料金		前処理費用				
	炭素ライン	ヨウ素ライン	骨・炭酸カルシウム	土壌・木片等	海水	二酸化炭素	試料プレス		炭素ライン	ヨウ素ライン	炭酸カルシウム	有機物	海水(+CO ₂)	二酸化炭素	試料プレス
研究開発以外 (商業利用等)	31,790	54,350	-	-	-	-	-	成果占有 (一般課題)	20,200	34,080	-	-	-	-	-
(A2) 研究開発 成果非公開 (一般課題)	23,510	39,450	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-
(B) 研究開発 成果非公開 (産業利用促進)	3,560	3,560	-	-	-	-	-		9,570	16,140	-	-	-	-	-
(C) 研究開発 成果公開 (競争的資金利用)	7,840	13,150	-	-	-	-	-		6,130	10,340	-	-	-	-	-
(D) 研究開発 成果公開 (一般課題)	3,560	3,560	-	-	-	-	-		2,420	4,080	-	-	-	-	-
-								(新) トライアルコース	0	0					
			19,080	18,960	30,760	14,410	1,270				18,710	4,830	1,990	20,820	370

現行料金と新料金との料金比較（5 / 11）

照射燃料集合体試験施設（FMF）（大洗）

現行の料金制度	現行料金（円/1時間）				新料金制度	新料金案（円/1時間）			
	非破壊試験 （X線CT以外）	X線CT	金相	輸送		非破壊試験 （X線CT以外）	X線CT	金相	輸送
研究開発以外 （商業利用等）	49,000～51,350	60,780	45,360	54,810～76,950	成果占有 （一般課題）	28,530	71,000	33,080	36,560
(A2) 研究開発 成果非公開 （一般課題）	43,150～45,490	54,340	39,540	49,000～69,020					
(B) 研究開発 成果非公開 （産業利用促進）	3,770	3,770	1,190	410	成果占有 （利用促進課題）	21,430	63,900	25,980	29,460
(C) 研究開発 成果公開 （競争的資金利用）	14,380～15,000	18,110	13,180	16,330～23,010	成果非占有 （優先利用課題）	4,730	28,840	4,690	4,970
(D) 研究開発 成果公開 （一般課題）	3,770	3,770	1,190	410	成果非占有 （一般課題）	2,340	4,240	2,360	2,700
-	-	-	-	-	（新）トライアルユース	0	0	0	0

現行料金と新料金との料金比較（6 / 11）

照射燃料試験施設（AGF）（大洗）

現行の料金制度	現行料金（円/1時間）			新料金制度	新料金案（円/1時間）		
	製造	物性	分析		製造	物性	分析
研究開発以外 （商業利用等）	44,740～45,000	41,660～42,020	41,360～48,060	成果占有 （一般課題）	42,880	45,140	52,690
(A2) 研究開発 成果非公開 （一般課題）	42,570	39,490	39,190～45,890				
(B) 研究開発 成果非公開 （産業利用促進）	4,200	3,350	3,440	成果占有 （利用促進課題）	29,480	31,740	39,280
(C) 研究開発 成果公開 （競争的資金利用）	14,190	13,160	13,060～15,300	成果非占有 （優先利用課題）	14,520	16,090	23,620
(D) 研究開発 成果公開 （一般課題）	4,200	3,350	3,440	成果非占有 （一般課題）	5,870	7,440	6,120
-	-	-	-	（新）トライアルユース	0	0	0

現行料金と新料金との料金比較（7 / 11）

照射材料試験施設（MMF）（大洗）

現行の料金制度	現行料金（円/1時間）			新料金制度	新料金案（円/1時間）		
	強度	単軸クリープ	物性		強度	単軸クリープ	物性
研究開発以外 （商業利用等）	48,140～50,040	1,810	46,690～50,280	成果占有 （一般課題）	43,630	3,320	54,060
(A2) 研究開発 成果非公開 （一般課題）	45,430	1,780	45,620～49,210				
(B) 研究開発 成果非公開 （産業利用促進）	3,300	50	2,770	成果占有 （利用促進課題）	27,460	2,980	37,890
(C) 研究開発 成果公開 （競争的資金利用）	15,140	590	15,210～16,400	成果非占有 （優先利用課題）	13,020	1,150	24,190
(D) 研究開発 成果公開 （一般課題）	3,300	50	2,770	成果非占有 （一般課題）	1,830	380	1,890
-	-	-	-	（新）トライアルユース	0	0	0

現行料金と新料金との料金比較（8 / 11）

ホットラボ施設（大洗）

現行の料金制度	現行料金（円/1時間）						新料金制度	新料金案（円/1時間）					
	照射後試験							照射後試験					
	コンクリートセル	顕微鏡鉛セル	鉛・鉄セル	X線・γスキャン	XMA	微細組織解析装置		コンクリートセル	顕微鏡鉛セル	鉛・鉄セル	X線・γスキャン	XMA	微細組織解析装置
研究開発以外 (商業利用等)	21,100	2,840	6,170	33,160	16,140	147,840							
(A2) 研究開発 成果非公開 (一般課題)	設定なし						成果占有 (一般課題)	24,280	6,300	10,170	37,770	37,770	113,300
(B) 研究開発 成果非公開 (産業利用促進)							成果占有 (利用促進課題)	18,260	4,730	7,650	28,400	28,400	85,180
(C) 研究開発 成果公開 (競争的資金利用)							成果非占有 (優先利用課題)	3,920	1,020	1,640	6,100	6,100	18,300
(D) 研究開発 成果公開 (一般課題)							成果非占有 (一般課題)	1,660	430	700	2,570	2,570	7,720
-							(新) トライアルユース	0	0	0	0	0	0

現行料金と新料金との料金比較（9 / 11）

放射光科学研究施設（播磨）

現行の料金制度	現行料金（円） （円/1シフト（8時間））	新料金制度	新料金案試算 （円/1シフト（8時間））
研究開発以外 （商業利用等）	115,440		
(A2) 研究開発 成果非公開 （一般課題）	68,110	成果占有 （一般課題）	68,110
料金の変更なし			
(B) 研究開発 成果非公開 （産業利用促進）	9,580	成果占有 （利用促進課題）	9,580
(C) 研究開発 成果公開 （競争的資金利用）	22,700	成果非占有 （優先利用課題）	22,700
(D) 研究開発 成果公開 （一般課題）	9,580	成果非占有 （一般課題）	9,580
-	-	（新）トライアルコース	0

現行料金と新料金との料金比較 (10 / 11)

モックアップ試験施設 (檜葉遠隔技術開発センター)

現行料金制度					新料金制度				
区分	エリア区分	基本料金のA	基本料金のAの特別措置料金	備考	区分	エリア区分	基本料金のA	基本料金のAの特別措置料金	備考
モックアップ試験施設 試験棟	ロボット試験エリア	高さ 0m~40mまで 133	高さ 0m~40mまで 67	1㎡・1日 当たり	モックアップ試験施設 試験棟	ロボット試験エリア	高さ 0m~40mまで 133	高さ 0m~40mまで 67	1㎡・1日 当たり
	共通エリア	高さ 0m~10mまで 82	高さ 0m~10mまで 41			共通エリア	高さ 0m~10mまで 82	高さ 0m~10mまで 41	
Z(追加経費)					Z(追加経費)				
実験室等	試験棟付属建屋 研究準備室	133	67	1㎡・1日 当たり	実験室等	試験棟付属建屋 研究準備室	133	67	1㎡・1日 当たり
実験室等	試験棟付属建屋 研究室1	6,384	3,216	1日当たり	実験室等	試験棟付属建屋 研究室1	6,384	3,216	1日当たり
	試験棟付属建屋 研究室2	6,251	3,149			試験棟付属建屋 研究室2	6,251	3,149	
	試験棟付属建屋 研究室3	7,714	3,886			試験棟付属建屋 研究室3	7,714	3,886	
	試験棟付属建屋 研究室4	10,108	5,092			試験棟付属建屋 研究室4	10,108	5,092	
	試験棟付属建屋 研究室5	9,576	4,824			試験棟付属建屋 研究室5	9,576	4,824	
	試験棟付属建屋 研究室6	8,778	4,422			試験棟付属建屋 研究室6	8,778	4,422	
	試験棟付属建屋 会議室	1,064	536	1時間当たり		試験棟付属建屋 会議室	1,064	536	1時間当たり
	研究管理棟 利用者室1	7,980	4,020	1日当たり		研究管理棟 利用者室1	7,980	4,020	1日当たり
	研究管理棟 利用者室2	8,379	4,221			研究管理棟 利用者室2	8,379	4,221	
	研究管理棟 利用者室3	8,911	4,489			研究管理棟 利用者室3	8,911	4,489	
	研究管理棟 共用会議室	898	452	1時間当たり		研究管理棟 共用会議室	898	452	1時間当たり
	研究管理棟 講義室1	599	302			研究管理棟 講義室1	599	302	
	研究管理棟 講義室2	615	310			研究管理棟 講義室2	615	310	
	研究管理棟 バーチャルリアリティ室 (VRシステム)	3,890	1,960			研究管理棟 バーチャルリアリティ室 (VRシステム)	3,890	1,960	
研究管理棟 第1会議室	931	469	1㎡・1時間 当たり	研究管理棟 第1会議室	931	469	1㎡・1時間 当たり		
研究管理棟 第2会議室	1,180	595		研究管理棟 第2会議室	1,180	595			
研究管理棟 多目的室	5,387	2,714		研究管理棟 多目的室	5,387	2,714			
研究管理棟内	17	9	1㎡・1時間 当たり	研究管理棟内	17	9	1㎡・1時間 当たり		
倉庫	65	33	1㎡・1日 当たり	倉庫	65	33	1㎡・1日 当たり		
屋外試験エリア (多目的試験エリアを含む。)	65	33	1㎡・1日 当たり	屋外試験エリア (多目的試験エリアを含む。)	65	33	1㎡・1日 当たり		

料金の変更なし

現行料金と新料金との料金比較 (11/11)

ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点 (敦賀総合研究開発センター)

現行料金制度 (単位:円/時間) (税別)							新料金制度 (単位:円/時間) (税別)						
対象施設等	対象施設等	成果公開課題	成果占有課題		アカデミック利用 (教育機関 (大学等)) 【基本料金3】	トライアルユース	対象施設等	対象施設等	成果非占有課題	成果占有課題		アカデミック利用 (教育機関 (大学等)) 【基本料金3】	トライアルユース
		研究・開発 【基本料金2】	産業利用 (福井県内に本社を有する企業等) 【基本料金2】	左記以外 【基本料金1】					研究・開発 【基本料金2】	産業利用 (福井県内に本社を有する企業等) 【基本料金2】	左記以外 【基本料金1】		
技術実証試験・交流棟	産業技術交流室	1,800	1,800	1,900	1,800	-	技術実証試験・交流棟	産業技術交流室	1,800	1,800	1,900	1,800	-
	産学連携協力室	2,700	2,700	2,900	2,700	-		産学連携協力室	2,700	2,700	2,900	2,700	-
	研究者室 (1)	1,000	1,000	1,000	1,000	-		研究者室 (1)	1,000	1,000	1,000	1,000	-
	研究者室 (2)	1,000	1,000	1,000	1,000	-		研究者室 (2)	1,000	1,000	1,000	1,000	-
	共同研究室	3,000	3,000	3,200	3,000	-		共同研究室	3,000	3,000	3,200	3,000	-
廃止措置解体技術検証フィールド	複合現実感 (MR) システム	13,600	13,600	29,500	6,500	0	廃止措置解体技術検証フィールド	複合現実感 (MR) システム	13,600	13,600	29,500	6,500	0
レーザー加工高度化フィールド	ロボット協調・レーザー溶断適応制御システム	9,100	9,100	21,400	6,100	0	レーザー加工高度化フィールド	ロボット協調・レーザー溶断適応制御システム	9,100	9,100	21,400	6,100	0
	解析用ワークステーション	300	300	900	200	0		解析用ワークステーション	300	300	900	200	0
	FBGセンサ製造装置	5,900	5,900	8,800	5,800	0		FBGセンサ製造装置	5,900	5,900	8,800	5,800	0
廃止措置モックアップ試験フィールド	水中技術実証試験エリア (水中解体検証用タンク)	10,200	10,200	13,900	6,600	光熱水費実費	廃止措置モックアップ試験フィールド	水中技術実証試験エリア (水中解体検証用タンク)	10,200	10,200	13,900	6,600	光熱水費実費
	気中技術実証試験エリア (排煙浄化設備)	10,200	10,200	13,900	6,600	光熱水費実費		気中技術実証試験エリア (排煙浄化設備)	10,200	10,200	13,900	6,600	光熱水費実費

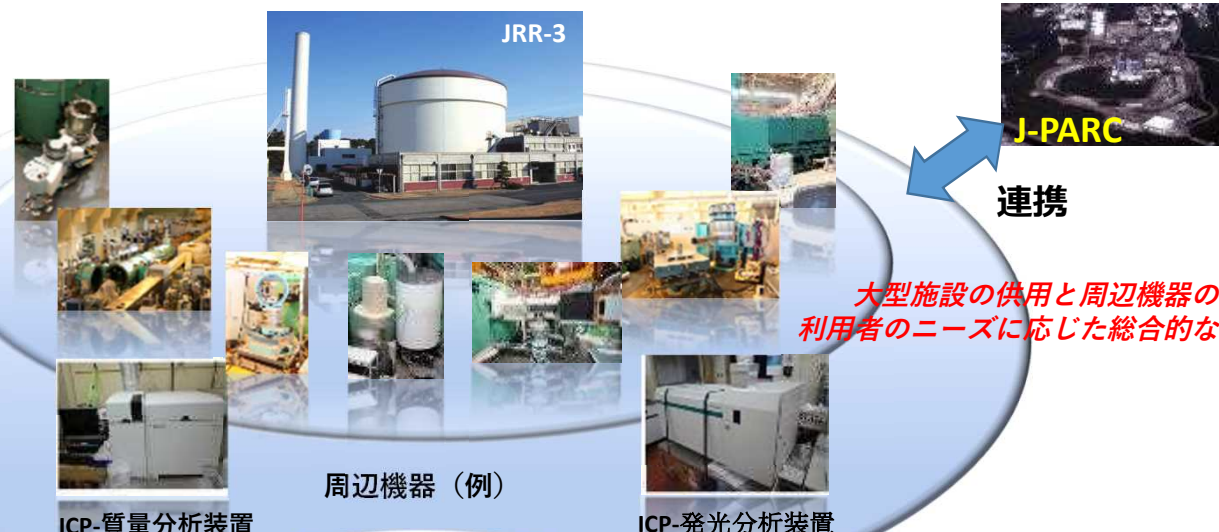
料金の変更なし

4. 今後の供用機能の強化について

運転再開予定のJRR-3を中心とした供用プラットフォームを構築し、全拠点に展開を行い、機構施設の供用を通じて、国内外の様々な研究者が集まる「共創の場」を構築し、オープンイノベーションを推進するとともに、我が国の原子力人材の育成や科学技術と産業の発展に貢献する。

新しい利用体系の構築

従来の成果非占有利用（成果公開）、成果占有利用（成果非公開）に加え、無料利用となる**トライアルユースの設定により利用者の裾野を拡大する。**



ユーザーの利便性向上

技術コーディネータの配置、**供用施設、一般機器利用サービス等の提供等課題申請システム (RING) の充実化**により、外部ユーザーの利便性を向上する。



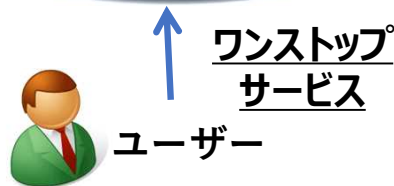
JRR-3 RING



X線回折装置

ユーザーズオフィス

利用システム構築
コーディネータの配置
技術支援員の配置



産業界との連携強化

中性子産業利用推進協議会等におけるJRR-3のアウトリーチ、産業応用セミナーおよび測定技術講習会開催、企業ビームラインの創設、オープンラボの設置等を検討する。

